



報道関係者各位

エコマーク「ホテル・旅館 Version2」認定基準で 初の認定施設が誕生しました！

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局(住所:東京都千代田区、理事長:森島 昭夫)は、ホテル・旅館のエコマーク認定基準を全面的に改定し、2019年3月1日付で制定した新たな基準「ホテル・旅館 Version2」において、初の認定施設(4社、5施設)が誕生しましたので、お知らせします。

◇エコマーク「ホテル・旅館 Version2」 認定施設について

近年、「持続可能な開発目標(SDGs)」や「パリ協定」等の国際的な枠組みがクローズアップされており、国内でも食品ロス対応への要請の高まりや、省エネ法のベンチマーク制度の対象にホテル業が追加されるなど、宿泊施設の経営においても『環境対応』を始めとした統合的な取り組みが求められる時代となりました。また、東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博などの開催によるインバウンドの急増、外国人労働者の受入拡大など、訪日外国人に向けた情報発信の重要性も増しています。

こうした動向を背景に、従来の「ホテル・旅館 Version1」認定基準を全面的に見直し、新バージョンとして「ホテル・旅館 Version2」認定基準を2019年3月1日付にて制定しました。新バージョンでは基準項目を6つの評価カテゴリー(※1)に分け、SDGsなどの持続可能性の観点をより一層、明確化し、省エネ・節水などの基本的な環境対策に加えて、食品ロス削減、地域や社会への貢献など多様な取り組みを評価する内容になっています。

この新バージョンの認定基準に基づいて、多岐にわたる環境への取り組みが高いレベルで実施されているホテル・旅館として、初めてのエコマーク認定施設(4社・5施設)が2019年4月19日付で誕生しました。これにより、エコマーク認定ホテル・旅館はVersion1での認定施設7施設に加えて、合計12施設となりました。今後、エコマーク認定のホテル・旅館が普及することで事業者の環境配慮の取り組みが進むとともに、その宿泊施設を利用する消費者を巻き込んだ国民全体での環境意識の高まりへ広がっていくことが期待されます。

表.エコマーク商品類型 No.503「ホテル・旅館 Version2」認定施設一覧

会社名	認定番号	認定施設名
株式会社名古屋観光ホテル	19 503 001	名古屋観光ホテル (愛知県名古屋市) https://www.nagoyakankohotel.co.jp/
株式会社ナゴヤキャッスル	19 503 002	ホテルナゴヤキャッスル (愛知県名古屋市) https://www.castle.co.jp/hnc/ キャッスルプラザ (愛知県名古屋市) http://www.castle.co.jp/plaza/
株式会社戸田家	19 503 003	戸田家 (三重県鳥羽市) https://www.todaya.co.jp/
株式会社ホテルグランヴィア岡山	19 503 004	ホテルグランヴィア岡山 (岡山県岡山市) https://granvia-oka.co.jp/

(※1) 6つの評価カテゴリーは下記のとおりです。認定を受けた施設には以下のエコマークが表示されます。

<評価カテゴリー>

1. おもてなしにおける環境配慮
2. 客室備品・設備の環境配慮
3. 廃棄物削減・リサイクル
4. 省エネルギー
5. 節水
6. 施設運営における全般的な環境配慮

規模や業態による多種多様な取り組みを評価するため、ポイント制による評価を採用。

必須項目の全てと選択項目 25 ポイント以上で認定がされます。

2 ポイント以上を満たしたカテゴリーについて、右図のピクトグラムを施設内や宣伝広告に表示し、環境への取り組みを消費者にアピールすることができます。



認定基準や認定施設の一覧などについては、エコマーク事務局のウェブサイトで公開しています。
(<https://www.ecomark.jp/service/hotel/>)

以上

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
TEL: 03-5829-6284 E-mail: info@ecomark.jp

※事務所移転のため、2019年4月22日から上記の住所、電話番号に変わりました。

<エコマークについて>

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度です。1989年に創設され(公財)日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。エコマーク事務局ホームページでは、最新情報を随時アップしています。<https://www.ecomark.jp/>